

埋立できる量には限りがある？

区が回収したごみは、燃やして灰にしたり、小さく砕いてから、東京港にある埋立処分場に運び、最終処分をしています。

しかし、埋立てできる量には限りがあるうえ、船の航路を確保するため、東京港にはもう新しく埋立処分場をつくることはできません。

ごみの排出を抑え、資源を有効に活用していくことで、この処分場をより長く使うことが可能になります。

私たちの力で、埋立処分場の寿命を延ばし、未来につなげていきましょう！



埋立処分場の見学は、以下へお申し込み・お問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ先

(公財) 東京都環境公社 (☎03-3570-2230)

問 ごみ減量対策課・管理係

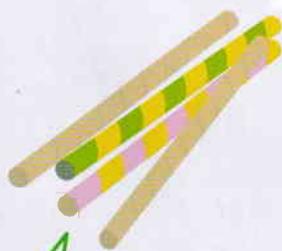


プラスチックを知ろう! Vol.8 ~使い捨てプラスチック削減の取組~

海洋プラスチックごみ問題や気候変動問題といった課題に対応すべく、使い捨てプラスチック削減に向けた取り組みが、今、世界中で推進されています。

日本でも 2019 年に政府は「プラスチック資源循環戦略」を策定。2030 年までに使い捨てプラスチックを 25% 排出抑制することを目標としています。

プラスチック製品から紙製品などに変わったもの



ストロー



菓子袋



ハンガー



弁当容器

紙や竹、草など自然の素材を使用しているものや、繰り返し使えるガラス、シリコン、ステンレス製の持ち運びできるものなど、環境にやさしい製品が増えてます。



いろいろな品物が紙製品や再利用できる素材に変わっているんだね！でも、品物を買う前に「本当に必要かな？」と一度よく考えてから購入すると、ごみの削減につながるね！！

問 ごみ減量対策課・事業計画係